

テスト施工報告書

株式会社白崎コーポレーション

商品名	つるガード工法、防草ラバーコート、目地バリシート
場 所	岐阜県可児市R41(名濃バイパス)
施工日	2018年9月6日(木)

試験概要

歩道を覆い尽くす性雑草“クズ”は、歩行者、自転車の事故を誘発するばかりか、雑草繁茂によるゴミのポイ捨て誘発(景観を損ねる)、構造物にクズが巻きつき刈取除草の手間が増えるなど様々な危険や迷惑の原因になります。そこで、そういった問題を解決する為に“つるガード工法(NETIS:KT-170031-A)”を設置し、クズが歩道への侵入防止することで“歩行者の安全性向上、景観美化向上”の効果の検証。又、併せて、ガードレール支柱際の雑草発生防止対策に“防草ラバーコート”、支柱間の目地からの雑草発生防止に“目地バリシート”を設置して効果の検証を行います。

施工手順:つるガード工法

施工前



除草作業



柵に絡まったクズ



フェンスに絡まったクズを除去



除草作業後



フェンス下につるガードシート1mを敷設



防止柵支柱からの雑草防止の為、粘着テープ貼付



法面につるガードシート(2m)を敷設
ネットとシートを接着



つるガードネット(H1. 5m)を設置・シートとネットを接着



U型アンカーピン(φ 4×250mm)を打設



二人一組になってインシュロックを固定



施工後



経過写真

施工直後(2018年9月6日)



経過 施工11ヶ月後(2019年8月19日)



つるガードネットへの絡みつきは確認されませんでした

施工手順：防草ラバーコート、目地バリシート

①施工前



①ガードレール支柱際を除草・清掃



②除草後、隙間のある目地に目地バリセメントを施す



②ラバーチップ5：ボンド1を攪拌して設置



③目地バリセメント乾燥後、プライマーを塗布



③設置後、際・端部を中心にしっかり転圧



④目地バリシートをバーナーであぶって、設置・転圧



経過 施工11ヶ月後(2019年8月19日)



目地バリシート、ラバーコートともに雑草発生なし。